

市民主導型の起業が社会を変える。

『シビックエコノミー 世界に学ぶ小さな経済のつくり方』

著：00 訳：石原 薫  
フィルムアート社刊 2600 円+税



これからの街づくりをはじめようと思っている人たち、すでに携わっている人たち、そうした活動を活性化させる仕組みづくりに関わる人たちへ、たくさんのヒントが詰まっている一冊。

まだ聞き慣れないこの「シビックエコノミー」とは様々な社会問題の解決をベースにした、市民主導型の起業が担う経済のこと。コミュニティ発電所やソーシャルベンチャースーパーマーケットなど、イギリスを中心に7か国25の事例を調査、分析している。発展と苦境の経緯、成果としての数字、そこから導き出される教訓までをも収めている。

寄付や公的補助に頼らずにどうやって事業を続けていくか、いかに雇用や就労の機会を生み出していくか、という悩ましい問題も忘れていない。



『美味しい田舎のつくりかた』

著：金丸弘美  
学芸出版社刊 1800 円+税

地元の食材を武器に、その地域をもっと元気にする取り組み。全国10か所の事例紹介からは、受け手となる都市側にも、少量多品種の野菜を意欲的に使う料理人が増えたことや、生産者の顔が見える、安心でおいしい「食」を選ぶ消費者意識の変化があることも見えてくる。



『地球はメリーゴーラウンド』

著：水谷孝次 & MERRY PROJECT 絵：てづかあけみ  
PHP 研究所発行 900 円+税

世界中に笑顔を広げる「MERRY PROJECT」から絵本が誕生。地球環境の現状と、問題の解決策をかわいいイラストとともに紹介する。子どもと一緒に楽しみながら学べる一方、大人も自分にできることは何かを考えるきっかけにもなりそうだ。



『箱覧会』

著：小西七重 (タイムマシンラボ)  
スモール出版刊 1600 円+税

大切にされているものを表現するのに「箱入り娘」という言葉があるように、とっておきを入れておく「箱」。道具箱や、お菓子の箱、マッチ箱に、棺まで!? さまざまな役割を果たす箱が大集合。その中身を見せてもらうことで、その人の一部をこっそり覗いたような気になる。